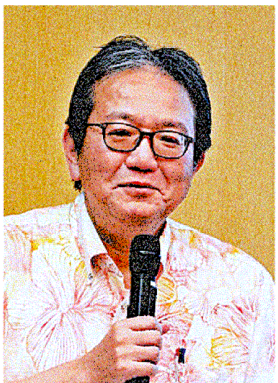


国境観光振興で提携 産学官が協議会 石垣の3社参加

【東京】国境地域の観光振興を目指す「ボーダーツーリズム推進協議会(JBTA)」の設立総会が10日、都内であった。産学官で連携して国境

地域や隣国への旅行ツアーを企画し、集客で地域活性化につなげることが狙い。沖縄からは石垣市の安栄観光、石垣島トラベルセンター、ビーチホテルサンシャインの3社が会員として参加した。

会長にANA総合研究所の伊豆芳人氏が就任。自治体と



ボーダーツーリズムの魅力について語る北大の岩下明裕教授 10日、東京・羽田空港第1ターミナルビル

体験する包括的な旅」と表現。「ストーリー性を持たせれば、いろんなツアーの企画が可能」とした。

自身がNPO法人を取り組む中で、八重山から台湾、稚内からサハリンなどの旅行を企画した経験を踏まえ、新たな知識を得る「気付き」と、歴史を感じる「想像力」が魅力の一つとし「達成感や余韻が続き、旅行参加者はリピーター化する」と話した。

して長崎県の五島、対馬両市が会員になったほか、北海道、東京、福岡、鹿児島の旅行业者が参加した。

設立総会で講演した北海道大の岩下明裕教授は、ボーダーツーリズムについて「歴史や文化、食など空間と場所を